

令和4年度

2年

普通科

シラバス

園芸高等学校

国語

2年現代文B\_R4 シラバス.....1

数学

2年数学I\_R4.....5

理科

2年化学基礎\_R4 シラバス.....9

2年生物基礎\_R4 シラバス.....14

英語

2年コミュニケーション英語II\_R4 シラバス.....21

学設\_2年英語演習\_R4 シラバス.....33

保健体育

2年保健\_R4.....34

2年女子体育\_R4.....36

2年男子体育\_R4.....39

家庭

2年家庭基礎\_R4 シラバス.....42

教養

学設\_2年基礎教養\_R4 シラバス.....47

## 令和4年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	2	年次	2
使用教科書	新編現代文B (数研出版)						
副教材等	意味から学ぶ常用漢字 (第一学習社)						

## 1 担当者からのメッセージ

- ・ 2年生では1年生に引き続き、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
- ・ 様々な文章に触れ、「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
- ・ 提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

## 2 学習の到達目標

- ・ 目的や場にあふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・ 目的や場に応じて的確に文章の内容や構成を理解することができる。
- ・ 言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・ 様々な文章や考えに触れ、広い視野を養う。
- ・ 漢字や語句の意味等国語における基本事項を習得する。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ワークシート等)	行動の観察 (発問に対する解答等)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙) 定期考査	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

## 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	【近代以降】 教材: 「素直に生きる」	○			◎	○	a: 考えの進め方や、考えの根拠、例の意味することなど、筆者の主張を的確にとらえようとしている。 d. 考えの進め方や、考えの根拠、例の意味することなど、筆者の主張を的確にとらえている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及び記述の点検  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
	評論1	【近代以降】 教材: 「失敗談」 「進化と適応」	○			◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及び記述の点検  d: 記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
	小説1	【近代以降】 教材: 「山椒魚」  精読後、原稿用紙の使い方を学び、読書感想文を書き、読み合う。	○	○	○	◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 d: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b: 行動の観察及び記述の点検  c: 記述の点検と確認及び分析定期考査  d、e: 記述の確認及び定期考査
2学期	詩歌	【近代以降】 (短歌の代表的な作品を鑑賞する)  教材: 教科書掲載の短歌	○			◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検  d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

2年現代文B\_R4 シラバス

2 学期	評論 2	【近代以降】 教材： 「ロボットと人間の未 来」	○			◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の 推移など、文章の筋道を的確に とらえようとしている。 d: 考えの進め方や、情景や心情の 推移など、文章の筋道を的確に とらえている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言 葉の数を増やしている。	a: 行動の観察及 び記述の点検 d: 記述の確認及 び定期考査 e: 小テスト及び 定期考査
	小説 2	【近代以降】 教材:「こころ」  精読後、原稿用紙の 使い方を学び、読書 感想文を書き、読み 合う。	○	○	○	◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どう して書き手がこのように描い ているのかを捉え、象徴、予兆 などに果たしている効果に気 付こうとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の 考えを説明したり、考えを相対 化したりして話し合っている。 c: 文章の形態や文体、語句など に合った適切な表現の仕方 で書いている。 d: 人物、情景、心情などを、どう して書き手がこのように描い ているのかを捉え、象徴、予兆 などに果たしている効果に気 付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによ る特色について理解している。	a、b: 行動の観 察及び記述の 点検 c: 記述の点検と 確認及び分析 定期考査 d、e: 記述の確認及 び定期考査
3 学期	小説 3	【近代以降】 教材:「花のような 人」  精読後、原稿用紙の 使い方を学び、読書 感想文を書き、読み 合う。	○	○	○	◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どう して書き手がこのように描い ているのかを捉え、象徴、予兆 などに果たしている効果に気 付こうとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の 考えを説明したり、考えを相対 化したりして話し合っている。 c: 文章の形態や文体、語句など に合った適切な表現の仕方 で書いている。 d: 人物、情景、心情などを、どう して書き手がこのように描い ているのかを捉え、象徴、予兆 などに果たしている効果に気 付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによ る特色について理解している。	a、b: 行動の観 察及び記述の 点検 c: 記述の点検と 確認及び分析 定期考査 d、e: 記述の確認及 び定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 話す・聞く能力      c: 書く能力  
d: 読む能力      e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付  
けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」  
「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。



## 令和3年度 数学科

教科	数学	科目	数学 I	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	改訂版 新 高校の数学 I (数研出版)						
副教材等	教科書学習ノート 数学 I (数研出版)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解しましょう。
- ・学習の基本は授業です。常に真剣な気持ちで取り組みましょう。授業では、はじめに新しい基本事項 (法則, 定理, 公式) を理論的に導き (証明)、そのあとでそれを利用するための練習問題を解きます。その際に、生徒間で質問や説明および議論を行い、生徒同士で学び合う時間を授業の中に取り入れています。
- ・授業内容を理解しやすいように、毎時間授業プリントを用意しています。板書だけでなく、自分の考えや周りの人の考えも積極的に記録しましょう。
- ・問題集は定期考査ごとに提出してもらいます。提出期限は守りましょう。

## 2 学習の到達目標

三角比、集合と論証、およびデータの分析の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	数学的活動を通して、三角比、集合と論証、およびデータの分析の考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、三角比、集合と論証、およびデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	三角比、集合と論証、およびデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	三角比、集合と論証、およびデータの分析における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。

2年現代文 B\_R4 シラバス

評価方法	学習活動への取り組み 課題・提出物の状況 プリント 小テスト 観察等	小テスト 定期考査 プリント 観察等	小テスト 定期考査 プリント 観察等	小テスト 定期考査 プリント 観察等
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	三角比	鋭角の三角比	○	○	○	○	a: 三角比に関心を持ち、直角三角形の計量にもちいようとする。また、三角比の相互関係に関心を持ち、図や表を用いて調べようとする。 正弦定理・余弦定理などが図形の計量の考察に有用であることに気付き、活用しようとする。 b: 図形の相似の考え方をを用いて、直角三角形の辺の比を角との関係でとらえることができ、三角比の相互関係について考察することができる。 c: 直角三角形を用いて考えられる計量の問題を、三角比の記号を用いて表現し処理することができる。 三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求め	小テスト 定期考査 プリント 観察等
		三角比の利用	○	○		○		
		三角比の相互関係			○			
		鈍角の三角比		○	○	○		



2年現代文 B\_R4 シラバス

		正弦定理・余弦定理	○	○	○	<p>られる。また、<math>90^\circ</math> までの三角比の表を用いて鈍角の三角比の値を求めることができる。</p> <p>d: 正弦、余弦および正接を直角三角形の辺の比と角との関係として理解し、基礎的な知識を身に付けている。鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。</p>		
2 学 期	集 合 と 論 証	集合		○	○	<p>a: 必要条件や十分条件、及びそれらの使い方を日常生活の中に見出し、利用しようとする。</p> <p>b: 条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができる。また、命題の真偽を、集合の包含関係に結びつけてとらえることができる。</p>	小テスト 定期考査 プリント 観察等	
		命題と集合		○	○	○		<p>c: 命題を表す記号を理解し、命題の真偽を考察することができる。また、対偶の定義を理解し、命題の対偶を作ることができる。また、対偶の真偽はもとの命題の真偽と一致することを理解している。</p>
		必要条件と十分条件	○		○	○		<p>d: 共通部分、和集合、空集合、部分集合、全体集合、補集合について理解している。また、否定の意味及び否定を表す記号や、十分条件、必要条件および必要十分条件の定義を理解している。</p>
3 学 期	デ ー タ の 分 析	データの整理			○	○	<p>a: 身近なテーマを取り上げ、目的に応じてデータを分析し、傾向をとらえるなど、統計の考えに関心を持ち、それを活用しようとする。また、度数分布表やヒストグラムなど、統計の考えに関心を持ち、代表値などを用</p>	小テスト 定期考査 プリント 観察等

2年現代文 B\_R4 シラバス

		データの代表値	○		○		いて資料の傾向をとらえようとする。 b: 目的に応じてデータを整理し、それを分析する活動などを通して、資料の傾向をとらえることができる。また、目的に応じて資料を分析するための必要な方法について考察することができる。
		データの散らばり		○	○	○	c: 目的に応じて資料を収集・整理し、それを表やグラフなどを用いて分析して、結果を数学的に表現することができる。 資料を分析し、度数分布表やヒストグラムなどで表現し、代表値などを求め、資料の傾向を把握し、表現することができる。
		データの相関		○	○	○	d: 資料を分析するための表やグラフを理解し、データの傾向をとらえるための代表値や度数分布表、ヒストグラムなどの意味などを理解している。

- ※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:数学的な見方や考え方  
c:数学的な技能      d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

## 令和4年度 理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	改訂 新編 化学基礎 (東京書籍)						
副教材等	改訂 ニューアチーブ 化学基礎 (東京書籍)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「化学基礎」で学習する内容は化学のほんの一部ですが、「化学基礎」の学習を通じて化学の本質の一端に触れるとともに、単なる知識だけでなく、科学的に考える・探求する力を身につけることができるでしょう。身近な現象や、物質の構造についても知識や理解を深めましょう。

## 2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに科学的態度を身につけている。	自然界や産業界にある化学的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

2年現代文 B\_R4 シラバス

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	化学と人間生活	人間生活の中の化学	○		○	○	a:身近に利用されている物質の成りたち、構造、性質などについて興味をもつ。 c:還元による銅の生成実験ができる。 d:資源の再利用の必要性を理解し、現状や問題などについて調べてみる。 物質には適切な使用量や濃度があることを理解する。	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
	物質の探究	物質の性質と分離		○	○	○	a:原子や元素という概念に興味をもつ。 b:純物質と混合物の違いが説明できる。 同素体の違いについて説明できる。 物質を加熱・冷却したときの、温度変化をグラフに表すことができる。	
		物質の成分	○	○		○	c:混合物を純物質に分離できる。 d:混合物の分離操作をあげられる。 主な元素の元素記号が書ける。 成分元素の検出法を理解している。 絶対温度とセルシウス温度の関係を理解している。	
	物質の構成粒子	原子の構造	○	○		○	a:原子はいくつかの粒子から構成されていることに気づき、同じ元素でも構成が異なるものがあることに興味をもつ。 周期表上の元素の配列のしかたについて興味をもつ。 b:原子がどのような粒子から構成されているかを説明することができる。 原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいか判断できる。	

2年現代文B\_R4シラバス

		電子配置と周期表	○	○	○	○	<p>周期表の中に周期律が見いだせる。</p> <p>c:イオンの電子配置を模型により示すことができる。</p> <p>d:原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。</p> <p>主なイオンのイオン式が書ける。</p> <p>イオン化エネルギーの概念と周期表上での傾向を説明できる。</p> <p>元素の周期表上の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布、および同族元素について理解している。</p>	
	粒子の結合	イオンとイオン結合	○		○	○	a:身のまわりにある物質の性質に興味をもつ。	
		金属と金属結合	○		○	○	b:価標を考えることによって分子の構造を予想することができ、極性分子と無極性分子に分類できる。	
		分子と共有結合	○	○	○	○	c:物質の特徴を示すことができる。 d:イオン結晶、分子結晶、共有結合結晶、金属の名称と組成式の組み立て方を理解している。	
2学期	物質と化学反応式	原子量・分子量と物質質量	○	○	○	○	<p>a:同じ原子でも、異なる質量をもつものがあることに興味をいだく。</p> <p>化学反応式をもとに、量的な関係をつかむことができる。</p> <p>b:質量そのものではなく、基準に対する相対質量で表すことを理解している。</p> <p>ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。</p> <p>モル質量の概念を使い、粒子数・質量と物</p>	<p>学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査</p>

	化学変化の量的関係	○	○	○	○	<p>質量に関する計算ができる。</p> <p>計算により濃度を求めることができる。</p> <p>正しい化学反応式が表せる。</p> <p>c:実際の物質の量を物質量で表せる。</p> <p>決められたモル濃度の水溶液を、調製することができる。</p> <p>化学反応式の係数から、物質の量的変化をとらえることができる。</p> <p>d:原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。</p> <p>質量パーセント濃度、モル濃度の意味を理解している。</p> <p>化学反応における、物質量、粒子の個数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。</p>
酸と塩基の反応	酸と塩基	○	○		○	<p>a:酸・塩基とは何かに関心をもつ。</p> <p>中和反応の本質は、<math>H^+</math>と<math>OH^-</math>の反応であることに気づく。</p>
	水素イオン濃度とpH		○		○	<p>b:酸と塩基を見きわめられる。</p> <p>pHから酸性、塩基性の強弱が判断できる。</p> <p>塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。</p> <p>c:中和滴定の実験により、濃度未知の酸や塩基の濃度を求めることができる。</p>
	中和反応と塩の生成	○	○	○	○	<p>塩の水溶液をつくり、pHを測定することができる。</p> <p>d:酸・塩基の価数、電離度などの考え方があることを理解している。</p> <p>中和の量的関係を数値計算により求めることができる。</p>
	中和反応の量的関係と中和滴定	○		○	○	<p>滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。</p> <p>酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類があることを理解している。</p>

3 学 期	酸化還元反応	酸化と還元	○	○	○	○	<p>a:酸素と化合することが酸化、酸素を失うことが還元であることに気づく。</p> <p>身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。</p> <p>b:酸化還元反応には必ず電子の移動が伴うことに気づく。</p> <p>酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができるようになる。</p> <p>酸化還元の化学反応式から、酸化剤と還元剤の働きを読みとることができる。</p>	学習状況 探究活動 ノート プリント 観察・実験 定期考査
		酸化還元反応の応用	○	○	○	○	<p>金属固有の性質もイオン化傾向で考えることができるようになる。</p> <p>金属の製錬は、酸化還元反応を利用したものであることに気づく。</p> <p>c:酸化還元反応の進行を、実験を通して視覚的に判断できるようになる。</p> <p>簡単な電池をつくることができる。</p> <p>d:電子の授受が酸化還元の本質であることを理解している。</p> <p>酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。</p> <p>酸の酸化力の強弱と金属の反応との関係性を理解している。</p>	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:観察・実験の技能      d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

## 令和4年度 理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	改訂版 新編「生物基礎」 (数研出版)						
副教材等	改訂版 生物基礎 学習ノート (数研出版)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「生物基礎」では、生物に共通する点、異なる点を考えることから、まず学習を始めます。生物に共通する点として、細胞でできている、DNAを持っている、エネルギーの受け渡しでATPをもちいることがあります。初めは、慣れない専門用語が多く出てきますが、少しずつ学習を進めることで、生命への理解が深まると思います。学習方法としては、教科書をよく読み活用しましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高める。また、関連する農業の科目と知識がつながるように、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させる。
- ・生物と遺伝子についての正しい理解に基づいた生物の共通性や多様性の視点を身につけさせる。
- ・生物の体内環境の維持と健康についてその仕組みを理解させる。
- ・生物の多様性と生態系について学び、生態系の保全について認識させる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自然の事物・事象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとする。また、科学的態度を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について基本的な概念を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験のレポート 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験のレポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。



## 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の特徴	生物の多様性と共通性	○	○			a: 様々なレベルでの生物の多様性を理解して共通性との関連を考えようとしているか。 b: 生物のもつ共通性と多様性生物の進化に基づくことを理解している。 c: 目的とする観察対象と明確に観察できるか。 d: 整理問題を答えることができるか。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査
		エネルギーと代謝	○	○	○	○	a: 物質のレベルで起こっている現象を具体的なイメージを持って理解・把握しようとしているか。 b: 酵素の働きと生体内の化学反応の調節の関係を理解しているか。ATP はすべての生物が利用するエネルギー物質であるという生命の共通性の意味について理解しているか。 c: 1日の消費エネルギーの算出ができるか。 d: 整理問題を答えることができるか。	

2年現代文 B\_R4 シラバス

		光合成と呼吸	○	○	○		<p>a: 生命活動の単位となる細胞でのエネルギーを扱うミトコンドリアと葉緑体のはたらきについて知ろうとしているか。</p> <p>b: ミトコンドリアと葉緑体で行われていることと、生命活動のエネルギーとの結びつきを理解しているか。</p> <p>c: 植物細胞に含まれる葉緑体の形態を観察できるか。</p> <p>d: 整理問題を答えることができるか。</p>	
2学期	遺伝子とその働き	遺伝情報と DNA	○	○	○	○	<p>a: 遺伝子の本体として機能する DNA とはどのような構造的特徴をもつ物質であるかということについて興味関心があるか。</p> <p>b: 塩基配列に遺伝情報があるという結論を導くことができるか。</p> <p>c: DNA の抽出作業ができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	<p>学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査の結果 実験レポート</p>
		遺伝情報の発現		○	○	○	<p>a: 転写・翻訳という遺伝子発現の過程に興味関心を示したか。</p> <p>b: タンパク質と DNA の関係を科学的に考察し、その関係を的確に表現することができるか。</p> <p>c: だ腺染色体のプレパラートの観察ができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	

2年現代文 B\_R4 シラバス

		遺伝情報の分配	○	○		○	<p>a: 遺伝情報の分配と分化した細胞での遺伝子の働きについて意欲的に理解しようとしたか。</p> <p>b: 体細胞分裂と DNA 量の変化を説明できるか。パフの存在を遺伝子の発現と関連付けられるか。</p> <p>c: 実験操作が理解できるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
生物の体内環境とその維持		体液という環境	○	○		○	<p>a: 体内環境について理解し、その恒常性について具体的にとらえられているか。</p> <p>b: 体液の種類とそのはたらきを理解し、その循環経路や血液細胞についての内容が正しく説明できるか。</p> <p>c: 凝固反応の実験の過程を理解している。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査
		腎臓と肝臓	○	○	○	○	<p>a: 体内環境の違いに関わらず、体液の塩分濃度や水分量が一定に保たれていることに気付き、その著説のしくみや肝臓腎臓の機能について興味を持って学習したか。</p> <p>b: 肝臓と腎臓の機能を説明でき、尿の生成過程については数量的な扱いができる。</p> <p>c: ゴウリムシの収縮胞の観察</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	

2年現代文 B\_R4 シラバス

		神経とホルモンによる調節	○	○		○	<p>a: 脊椎動物の恒常性の維持に、神経とホルモンが関与している意味を理解しようとする態度が見られるか。</p> <p>b: 神経性調節とホルモン性調節の共通点と相違点をとらえ、前者の拮抗作用、後者のフィードバック調節について説明できるか。</p> <p>c: 心拍の運動前後の比較。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
		免疫	○	○		○	<p>a: 体を守る生体防御のしくみについて探究心を持って授業に参加し、様々な免疫機構について理解しようとしているか。</p> <p>b: 自然免疫と獲得免疫について、獲得免疫のうち体液性免疫と細胞性免疫についてその機構の共通性・相違点について説明できるか。二次応答などの感染症を防ぐしくみや、エイズなどの免疫の異常で起こる疾病について具体的に説明できるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
3学期	植生の多様性と分布	植生とその成り立ち	○	○			<p>a: 優占種や相観の観点から植生を分類することができるか。また、森林では階層構造が成立することに興味や関心を持っているか。</p> <p>b: 植生の特徴を優占種と相観によって大まかにとらえることができるか。森林の階層構造を垂直方向の環境条件の変化と関連して考察することができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	<p>学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査</p>

2年現代文 B\_R4 シラバス

		植生の移り変わり	○	○		○	<p>a: 植生遷移について興味関心を示したか。</p> <p>b: 気温と降水量という要因がそれぞれのバイオームの成立にどのように関連しているかを表現することができるか。</p> <p>c: データ処理ができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
		気候とバイオーム	○	○		○	<p>a: 植生と環境とのかかわりに関心を持っているか。</p> <p>b: 調査・測定によって得られたデータから、どのような原因でそのような植生になっているか判断できるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
	生態系とその保全	生態系とその成り立ち	○	○			<p>a: 生態系の定義、また、その保全に対して基本的知識を身につけ、興味関心があるか。</p> <p>b: 生態系の中で、生物同士の関係について理解でき、表現できるかどうか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	<p>学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発問評価 定期考査</p>
		物質の循環とエネルギー	○	○			<p>a: 生態系の中の食う-食われるの関係を通して、物質やエネルギーがどのように移動していくかについて、学習しようとする意欲が見られるか。</p> <p>b: 窒素、炭素の循環の中で、生物間の物質移動とともに、エネルギーの一部も移動していること、及び物質とエネルギーの移動の違いがあることを判断し、説明表現ができるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	

2年現代文 B\_R4 シラバス

		生態系のバランスと保全	○	○	○	<p>a: 生態系のバランスについて関心を持っているか。地球環境の問題に関心を持っているか。</p> <p>b: 無機的環境と生物間の複雑な関係によって、生態系のバランスが保たれていることを理解し、人類の活動がそれに大きな影響を与えること具体的に説明でき、生態系のバランスを維持するために、人類としてあるいは個人としてできることを考え表現できるか。</p> <p>c: 外来種についてのレポートが作成できるか。</p> <p>d: 整理問題が解けるか。</p>	
--	--	-------------	---	---	---	--	--

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:観察・実験の技能      d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	3001
------	------

## 令和4年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第2学年	All Aboard! English Communication II

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

昨年度学んだコミュニケーション英語Ⅰを土台に、英語表現の幅を広げていきましょう。学んだ表現を用いて、自分に関することを話したり、書いたりしてみましよう。教科書の教材を読んで、異文化への関心を高め、多文化共生の理念を深めてください。

## 2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	コミュニケーション英語Ⅱ ・定期考査等	基本的な語や表現を使って、好き嫌いについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。	コミュニケーション英語Ⅱ ・定期考査等	日常生活で使われる簡単な文（携帯メールや招待状など）を理解することができる。 ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる3文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。	コミュニケーション英語Ⅱ ・定期考査等	日常生活で用いられる非常に短い簡単な指示（「飲食禁止」など）やレストランなどのメニューを理解することができる。	コミュニケーション英語Ⅱ ・定期考査・スピーキングテスト等

## 3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
----	---------------------	----------	----------	----------------

## 2年現代文 B\_R4 シラバス

実施方法	積極的に言語活動を行い、自分の意思を伝えたり、相手の意思を理解しようとしていたりしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	教材の文章を読んで、その背景にある異文化などを理解しているか、多文化共生の理念を理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

## 4 学習の活動



単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 1 (4時間)	Fantastic Festivals	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		世界の祭りについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 身近な行事について間違いを恐れずに話したり書いたりしている。	・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。	・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。	・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。	
		「外国語表現の能力」				
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 身近な行事について話したり書いたりできる。	・ペアワーク等で考えを交流する。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。	・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。 ・ペアワーク等の活動を観察。	
		「外国語理解の能力」				
		2つの祭りについて聞いたり読んだりしたことから概要を正確に理解できる。 2つの祭りについて比較して読み、それぞれの特徴や共通点を正確に理解できる。	・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。	・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。	定期検査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。	
「言語や文化についての知識・理解」						
2つの祭りの特徴や共通点について理解している。 祭りや行事の説明に用いられる単語や表現について理解している。 比較表現：more, the most についての基本的な知識を身につけている。	・用法を確認し、確認問題を解く。	・比較表現：more, the most を用いた文を理解する、	・定期検査において、比較表現：more, the most を用いた文の理解ができているかを確認。			
Lesson 2 (5時間)	Dancing with Freedom	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		菅原小春さんという人物と世界で活躍するまでの道のりについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 自分のことについて間違いを恐れずに話したり書いたりしている。 相手の情報を積極的に聞き取ろうとしている。	・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。	・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。	・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。	
		「外国語表現の能力」				
聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 自分のことについて適切な表現を用いて話したり書いた	・ペアワーク等で考えを交流する。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。	・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。 ・ペアワーク等の活動を観察。			

2年現代文 B\_R4 シラバス

		りできる。			
		「外国語理解の能力」			
		菅原小春さんについて聞いたり読んだりしたことから概要を正確に理解できる。	・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。	・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。	定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		菅原小春さんという人物と世界で活躍するまでの道のりについて理解している。 人物の説明に用いられる単語や表現について理解している。 関係代名詞：what についての基本的な知識を身につけている。	・用法を確認し、確認問題を解く。	・関係代名詞：what を用いた文を理解する、	・定期考査において、関係代名詞：what を用いた文の理解ができていないかを確認。
Lesson 3 (5時間)	The Spirit of the Forest	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		天然記念物ヤマネについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 うまく言えないことがあっても、学んだ表現を用いて生息数が減少している生物について話したり書いたりしている。	・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。	・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。	・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 野生動物と自然環境について適切な表現を用いて話したり書いたりできる。	・ペアワーク等で考えを交流する。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。	・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。 ・ペアワーク等の活動を観察。
		「外国語理解の能力」			

2年現代文 B\_R4 シラバス

		<p>ヤマネの生態について聞いたり読んだりしたことから概要を正確にとらえることができる。 ヤマネが絶滅しかけている理由を正確に理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。</li> </ul>	<p>定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。</p>
「言語や文化についての知識・理解」					
		<p>ヤマネの生態と絶滅しかけている理由について理解している。 生息数が減少している生物について説明する単語や表現について理解している。 間接疑問文についての基本的な知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用法を確認し、確認問題を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接疑問文を用いた文を理解する、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査において、間接疑問文を用いた文の理解ができているかを確認。</li> </ul>
<p><b>Lesson 4</b> (5時間)</p>	<p>Living with Robots</p>	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<p>ロボットの役割や未来の生活について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 間違いを恐れずにテーマについての自分の考えを話したり書いたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。</li> </ul>
		「外国語表現の能力」			
		<p>聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 科学技術の発達と未来の社会について適切な表現を用いて自分の考えを述べることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアワーク等で考えを交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。</li> <li>ペアワーク等の活動を観察。</li> </ul>
「外国語理解の能力」					
		<p>私たちの生活におけるロボットの役割について聞いたり読んだりしたことから概要を正確にとらえることができる。 テーマについての賛成・反対の考えとその理由を正確に聞き取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。</li> </ul>	<p>定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。</p>

		「言語や文化についての知識・理解」			
		<p>ロボットの現在の役割やロボットとの未来の生活について理解している。                  テーマについて賛成・反対とその理由を述べる表現を理解している。                  名詞を後ろから説明する分詞についての基本的な知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用法を確認し、確認問題を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞を後ろから説明する分詞を用いた文を理解する、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査において、名詞を後ろから説明する分詞を用いた文の理解ができているかを確認。</li> </ul>
Lesson 5 (5時間)	Special Makeup in Kabuki	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<p>歌舞伎や隈取について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。                  間違いを恐れずに隈取のデザインについて話したり書いたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。</li> </ul>
		「外国語表現の能力」			
		<p>聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。                  自分が考えた隈取のデザインについて適切な表現を用いて説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワーク等で考えを交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。</li> <li>・ペアワーク等の活動を観察。</li> </ul>
「外国語理解の能力」					
		<p>歌舞伎の歴史や隈取の特徴について聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。                  隈取のデザインについて、その役柄や特徴を正確に聞き取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。</li> </ul>
		「言語や文化についての知識・理解」			

2年現代文 B\_R4 シラバス

		日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について理解している。歌舞伎や隈取を説明するのに必要な基本的表現を理解している。 to不定詞を含む表現についての基本的な知識を身につけている。	・用法を確認し、確認問題を解く。	・ to不定詞を含む表現を用いた文を理解する、	・定期考査において、 to不定詞を含む表現を用いた文の理解ができてきているかを確認。
Reading 1 (3時間)	Mujina	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		未知語や理解できないことがあっても推測するなどして読み続けている。 間違えることを恐れずに積極的に音読に取り組んでいる	・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。	・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。	・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		情景や心情が相手に伝わるよう気持ちを込めて暗唱することができる。 正しいリズムやイントネーションを用いて相手に伝わるよう音読することができる。	・ペアワーク等で考えを交流する。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。	・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。 ・ペアワーク等の活動を観察。
		「外国語理解の能力」			
		情景や心情を考えながら物語を味わって読むことができる。 物語の概要や要点を理解することができる。	・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。	・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。	定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
情景や心情を表すためにどこを強調して読むとよいかについて、その知識を身につけている。	・用法を確認し、確認問題を解く。	・情景や心情を表す文を理解する。	・定期考査において、情景や心情を表す文の理解ができてきているかを確認。		
「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」					

2年現代文B\_R4 シラバス

<b>Lesson 6</b> ( 5時間)	Microcosm in the Sea	グレートバリアリーフとその直面する問題について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 間違いを恐れずに未来に残したい場所や景色について話したり書いたりしている。	・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。	・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。	・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 未来に残したい場所や景色について適切な表現を用いて説明できる。 未来に残したい場所や景色について自分の考えを述べるができる。	・ペアワーク等で考えを交流する。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。	・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。 ・ペアワーク等の活動を観察。
		「外国語理解の能力」			
		グレートバリアリーフについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 グレートバリアリーフの直面する問題の詳細を読み取ることができる。 発表者の考えや意見を正確に聞き取ることができる。	・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。	・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。	定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
グレートバリアリーフとその直面する問題について理解している。 場所や景色を説明するのに必要な基本的表現を理解している。 動詞の目的語になるif節についての基本的な知識を身につけている。	・用法を確認し、確認問題を解く。	・動詞の目的語になるif節を用いた文を理解する、	・定期考査において、動詞の目的語になるif節を用いた文の理解ができているかを確認。		
<b>Lesson 7</b> ( 5時間)	Hula, Dance for Tomorrow	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		いわき市の歴史とフラダンスとの関係について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 人を励ますためにできることについて、間違いを恐れずに話したり書いたりしている。	・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。	・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。	・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。
「外国語表現の能力」					

2年現代文 B\_R4 シラバス

		<p>聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 人を励ますためにできることについて適切な表現を用いて話したり書いたりできる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワーク等で考えを交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。</li> <li>・ペアワーク等の活動を観察。</li> </ul>
「外国語理解の能力」					
		<p>いわき市の歴史とフラダンスとの関係について、聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 フラダンスに対する高校生の考えを読み取ることができる。 発表者の考えや意見を正確に聞き取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。</li> </ul>	<p>定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。</p>
「言語や文化についての知識・理解」					
		<p>いわき市の歴史とフラダンスとの関係について理解している。 助言するのに必要な基本的表現を理解している。 知覚動詞についての基本的な知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用法を確認し、確認問題を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知覚動詞を用いた文を理解する、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査において、知覚動詞を用いた文の理解ができているかを確認。</li> </ul>
Lesson 8 (5時間)	Magic of the Cotswolds	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<p>イギリスの町の風景や文化について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 間違いを恐れずに自分の好きな場所について話したり書いたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。</li> </ul>
		「外国語表現の能力」			
		<p>聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 自分の好きな場所について適切な表現を用いて話したり書いたりできる。 英語でメールを書く際に使われる形式を用いて書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワーク等で考えを交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。</li> <li>・ペアワーク等の活動を観察。</li> </ul>
「外国語理解の能力」					



2年現代文 B\_R4 シラバス

		<p>イギリスの町や文化について聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。</p> <p>イギリスで訪れた場所に対する結衣の感想を読み取ることができる。</p> <p>メールを読んで場所に関する情報を正確に読み取ることができる。</p>	<p>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。</p>	<p>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。</p>	<p>定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。</p>
「言語や文化についての知識・理解」					
		<p>イギリスの町の風景や文化について理解している。</p> <p>英語でメールを書く際に必要な基本的表現や形式を理解している。</p> <p>関係副詞：where, when についての基本的な知識を身につけている。</p>	<p>・用法を確認し、確認問題を解く。</p>	<p>・ 関係副詞：where, when を用いた文を理解する、</p>	<p>・定期考査において、 関係副詞：where, when を用いた文の理解ができているかを確認。</p>
Lesson 9 ( 5時間)	The Bitter Truth about Chocolate	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<p>チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。</p> <p>間違いを恐れずに自分の意見や感想を加えて話したり書いたりしている。</p>	<p>・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。</p>	<p>・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。</p>	<p>・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。</p>
		「外国語表現の能力」			
		<p>聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。</p> <p>日本の食料事情について調べたことに自分の意見や感想を加えて話したり書いたりできる。</p> <p>具体的な数字などの根拠を示して話したり書いたりできる。</p>	<p>・ペアワーク等で考えを交流する。</p>	<p>・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。</p>	<p>・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。</p> <p>・ペアワーク等の活動を観察。</p>
「外国語理解の能力」					



		<p>チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 グラフを読んで情報を正確に読み取ることができる。</p>	<p>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。</p>	<p>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。</p>	<p>定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。</p>		
「言語や文化についての知識・理解」							
		<p>チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードシステムについて理解している。 グラフなど図表を説明する際に必要な基本的表現を理解している。 使役動詞についての基本的な知識を身につけている。</p>	<p>・用法を確認し、確認問題を解く。</p>	<p>・使役動詞を用いた文を理解する、</p>	<p>・定期考査において、使役動詞を用いた文の理解ができているかを確認。</p>		
<p><b>Lesson 10</b> (5時間)</p>	<p>Designing for Peace</p>	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」					
		<p>マスード・ハッサニさんとマイン・カフォンについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。 間違いを恐れずに自分の意見を話したり書いたりしている。 ペアワークにおいて必要に応じて協力し合っている。</p>	<p>・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。</p>	<p>・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。</p>	<p>・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。</p>		
		「外国語表現の能力」					
		<p>聞いたり読んだりした内容について英語で答えることができる。 地雷の問題について自分の意見を理由を挙げながら話したり書いたりできる。</p>	<p>・ペアワーク等で考えを交流する。</p>	<p>・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。</p>	<p>・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。 ・ペアワーク等の活動を観察。</p>		
		「外国語理解の能力」					
		<p>マスード・ハッサニさんとマイン・カフォンについて聞いたり読んだりしたことから概要や要点を正確にとらえることができる。 対話相手の意見とその理由を正確に聞き取ることができる。</p>	<p>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。</p>	<p>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。</p>	<p>定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。</p>		
「言語や文化についての知識・理解」							

2年現代文 B\_R4 シラバス

		<p>マスード・ハッサニさんとマイン・カフオンについて理解している。</p> <p>英語で自分の意見を述べる際に必要な基本的表現を理解している。</p> <p>分詞構文についての基本的な知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用法を確認し、確認問題を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分詞構文 を用いた文を理解する、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査において、分詞構文を用いた文の理解ができているかを確認。</li> </ul>
<p><b>Reading 2</b> ( 5時間)</p>	<p>Olivia</p>	<p>「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」</p>			
		<p>アニマルセラピーについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。</p> <p>未知語や理解できないことがあっても推測するなどして読み続けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する文法事項をもとに、自分の意見をペアやグループに伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループの中で、自分の意見を述べ、相手の意見をしっかりと聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループでの、言語活動への取り組み姿勢を観察する。</li> </ul>
		<p>「外国語表現の能力」</p>			
		<p>聞いたり読んだりした内容についての質問に英語で答えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワーク等で考えを交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この単元で学んだ語句や表現を用いて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを提出させ、取り組み状況を確認する。</li> <li>・ペアワーク等の活動を観察。</li> </ul>
		<p>「外国語理解の能力」</p>			
<p>文章の詳細を正確に理解することができる。</p> <p>書かれている情報をもとに自分の考えや経験と対比させながら読み進めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりを示す語やフレーズに注意して、文章を読み、理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査において、内容理解を問う問題で、理解度を判断する。</li> </ul>		
<p>「言語や文化についての知識・理解」</p>					
<p>アニマルセラピーについて理解している。</p> <p>英語で手紙を書く際に必要な基本的表現や形式を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用法を確認し、確認問題を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分詞構文 を用いた文を理解する、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査において、分詞構文を用いた文の理解ができているかを確認。</li> </ul>		

学校番号

3001

1 枚のうちの 1

## 令和4年度「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
英語	英語演習	2年	2	CROSS SECTION Basic, ATLAS English Grammar Compass in 23 Lessons

到達目標	英文法の基本を理解し、辞書を使いながら自分で長文を読み解く力を身につける。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	基本的な語彙力を養うために長文を1つ読むごとに単語テストを行う。文法の基本を説明して理解させ、問題演習を行う。長文読解を宿題として、自分の力で辞書をつかって予習をしてもらうことを授業の前提とする。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	Unit1	論説文(社会)	単語小テスト 文法小テスト 予習チェック 授業態度 長文復習テスト 言語活動を評価に入れる 観点別評価を行う	長文読解理解度 予習達成度 語彙力 文法理解力 学習意欲
5月	Unit2	論説文(環境)		
6月	Unit3 Unit4	論説文(人物)、物語①		
7月	Unit5	論説文(生活用品)		
8月	Unit6	論説文(人物)		
9月	Unit7	論説文(音楽)		
10月	Unit8 Unit9	物語②、論説文(社会)		
11月	Unit10 Unit11	論説文(生物)、論説文(環境)		
12月	Unit12	物語③		
1月	Unit13 Unit14	論説文(科学技術) 論説文(占い)		
2月	Unit15	論説文(食べ物)		
3月				

## 令和4年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	2年次
使用教科書	「最新高等保健体育」(改訂版) (大修館出版)						
副教材等	「最新高等保健体育ノート」(改訂版) (大修館出版)						

## 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- 1) 発問に対しての積極的な挙手を求める。  
2) 板書においてただ写すのではなく、工夫したノートをつくる。

## 2 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観 点 の 趣 旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評 価 方 法	ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 ブレインストーミング 授業態度の観察	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 その他成果物	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 その他成果物
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

## 2年現代文 B\_R4 シラバス

### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	生涯を通じる健康	①思春期 ②性への欲求 ③妊娠出産 ④避妊法と人工妊娠中絶 ⑤結婚生活	○	○	○	a: 恥ずかしがらず堂々と内容を受け入れる b: 「生殖器の仕組み・性ホルモン・性周期」という大事などころでの発問に対して受け答えできる c: 「生殖器・性ホルモン・性周期」を結び付けて理解する	ワークシート 課題学習の成果物等
2学期	社会生活と健康	①中高年期 ②医薬品 ③医療サービス ④保健サービス ⑤保健活動	○	○	○	a: 関心の少ない項目であるが、積極的に取り組む b: 聴く一辺倒にならないよう、発問を多くして、受け答えの準備をさせる c: 今後必要となる医療・保健システムを理解する	ワークシート 課題学習の成果物等
3学期	社会生活と健康	①大気汚染 ②水質汚濁・土壌汚染 ③環境汚染を防ぐ取り組み ④ごみ処理・上下水道整備 ⑤食品の安全 ⑥働くことと健康 ⑦働く人の健康作り	○	○	○	a: 現在取り巻く衛生環境を知ること、重要課題として取り組む b: 身近な環境問題に関する初問に対して積極的に受け答えする c: 環境問題に、これまでより関心を多くもたせる	ワークシート 課題学習の成果物等

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断

c:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号

3001

## 令和4年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	2年次女子
使用教科書							
副教材等	イラストでみる「最新スポーツルール 2020」 (大修館書店出版)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・集団行動や各種目の中で、能力に応じて基礎・基本的な運動技能・いろいろな体力の要素を高めよう。
- ・自他の運動を観察し、協力することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、一体感を味わおう。
- ・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・協力するといった関わりを学び、日常生活の中で運動に親しむ態度と習慣を身につけよう。

## 2 学習の到達目標

- ・健康・安全に留意して運動する態度を育て、色んな種目を経験することで体を動かすことの楽しさを経験させる。
- ・生涯にわたって豊かで健康な生活を送るために、それぞれの年代において適した運動を日常生活の中に取り入れるための知識を深めるとともに実践する習慣を養う。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全に留意して学習に前向きに取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を冷静に判断できる。 公正で、協力することによってチーム力を上げたり、チーム内で自分の責任を果たすなどの態度を身に付ける。	お互いに教えあうことにより、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続することにより、体力や技能向上に繋がることを理解する。 学習で得た成果を実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、上達の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、スポーツとの関わり方について理解している。

2年現代文B\_R4 シラバス

評価方法	受講態度の観察 等	授業態度の観察 等	技能観察 等	体育理論のテスト 等
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動 体づくり運動	オリエンテーション 集団行動 新体力テスト 体力を高める運動 (補強運動)	○	○		○	a:体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとする、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察
	水泳	水泳 クロール 平泳ぎ	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように、マナーやルールを大切にしようとする、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳に親しむための取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方を理解している。	受講態度の観察 技能観察
2学期	水泳	1学期と同じ					1学期と同じ	





## 令和4年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	2年次男子
使用教科書							
副教材等	イラストでみる「最新スポーツルール 2020」 (大修館書店出版)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・集団行動や各種目の中で、能力に応じて基礎・基本的な運動技能・いろいろな体力の要素を高めよう。
- ・自他の運動を観察し、協力することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、一体感を味わおう。
- ・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・協力するといった関わりを学び、日常生活の中で運動に親しむ態度と習慣を身につけよう。

## 2 学習の到達目標

- ・健康・安全に留意して運動する態度を育て、色んな種目を経験することで体を動かすことの楽しさを経験させる。
- ・生涯にわたって豊かで健康な生活を送るために、それぞれの年代において適した運動を日常生活の中に取り入れるための知識を深めるとともに実践する習慣を養う。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全に留意して学習に前向きに取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を冷静に判断できる。 公正で、協力することによってチーム力を上げたり、チーム内で自分の責任を果たすなどの態度を身に付ける。	お互いに教えあうことにより、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続することにより、体力や技能向上に繋がることを理解する。 学習で得た成果を実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、上達の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、スポーツとの関わり方について理解している。

2年現代文B\_R4 シラバス

評価方法	受講態度の観察 等	授業態度の観察 等	技能観察 等	体育理論のテスト 等
	<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動 体づくり運動	オリエンテーション 集団行動 新体力テスト 体力を高める運動 (補強運動)	○	○		○	a:体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとする、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察
	水泳	水泳 クロール 平泳ぎ	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように、マナーやルールを大切にしようとする、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳に親しむための取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方を理解している。	受講態度の観察 技能観察
2学期	水泳	1学期と同じ					1学期と同じ	



## 令和4年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新家庭基礎 今を学び未来を描き暮らしをつくる (教育図書)						
副教材等	—						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

この科目では、座学、実習、ワークショップ、グループでの話し合いなど様々な形態の体験的な学習を中心に、学んだことを実生活に活かせるような実践的な力を養うことを目的としています。知識や技術を身につけるとともに、他者の多様な考え方を学び、自部ごととして考え、自分なりの考えを深めていってほしいと思います。また、周りとのコミュニケーションを図りながら、楽しんで取り組んでいきましょう。

## 2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家庭や地域の生活に関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	振り返りシート ワークシート 課題レポート 自己評価・相互評価 取り組み態度 (授業観察)	振り返りシート ワークシート 課題レポート 発表、スピーチ 実践課題 定期考査 取り組み態度 (授業観察)	技術テスト 作品 相互評価	ワークシート 課題レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 2年現代文 B\_R4 シラバス

### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

2年現代文 B\_R4 シラバス

1 学期	○ オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭基礎を学ぶにあたって</li> <li>＊他己紹介ワーク</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a：青年期の生き方や家族・家庭の意義や役割に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b：人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭と社会の関わりについての課題を見だし、その解決を目指して、考え、表現している</p> <p>c：事例などを通して、青年期の生き方や家族・家庭の在り方について検討する技術を身に付けている</p> <p>d：人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題、家族・家庭の意義、社会の関わりなどについて理解し、人の一生を自</p>	<p>授業観察</p> <p>振り返りシート</p> <p>ワークシート及び課題レポート</p> <p>発表</p> <p>定期考査</p>
	○ 青年期の自立と家族・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を見つめる</li> <li>・家族・家庭を見つめる</li> <li>＊家族とは＊家族法</li> <li>・人生をデザインする</li> <li>「これからの人生に向かって」</li> </ul>						
	○ 消費生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約の重要性と消費者保護の仕組み</li> <li>＊成人 18 歳</li> <li>＊消費者問題</li> </ul>	○	○		○	<p>分の問題として捉えるための知識を身に付けている</p> <p>a：消費者の権利と責任、現代の消費生活について考えようとしている。</p> <p>b：消費者問題の被害防止や救済について、まとめたりすることができる。</p> <p>c：消費行動における意思決定や契約、消費者問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる力をもっている。</p>	<p>授業観察</p> <p>振り返りシート</p> <p>ワークシート及び課題レポート</p> <p>定期考査</p>
○ 衣生活・住生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服実習</li> <li>・被服の管理</li> <li>・暮らしを考える</li> </ul>	○	○		○	<p>d：消費行動における意思決定や消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解している。</p> <p>a：意欲的に実習に取り組み、生活に活かそうとする実践的な態度を身に付けている</p> <p>b：暮らしや衣生活、住生活についての考えを深め、表現している</p>	<p>授業観察</p> <p>実技テスト</p> <p>実践課題</p> <p>実習</p>	

2年現代文B\_R4シラバス

							<p>c : 主体的に衣生活、住生活を営むために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている</p> <p>d : 暮らしの重要性について理解している</p>	
1 学期	○社会とかかわる(○共生○高齢社会含)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共に生き、共に支える</li> <li>・社会福祉、高齢社会</li> <li>・自分を知る、他者を知る*コミュニケーションワーク</li> </ul>	○	○	○		<p>a : 共生社会における家庭や地域の一員として関心をもち、主体的に行動しようとしている</p> <p>b : 共生社会を実現するために、社会の一員として何が出来るか考え、まとめ、表現している</p> <p>c : 自分の住んでいる地域や家庭の中で、共生を実現する技術を身につけている</p> <p>d : 共生社会の重要性について理解している</p>	<p>授業観察</p> <p>振り返りシート</p> <p>定期考査</p>
2 学期	○保育(○生活設計含)	<p>☆この単元は2学期、3学期にわたって学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠の不思議と胎児の変化</li> <li>・子どもが育つ力</li> <li>・親として育つ</li> <li>・乳幼児親子らとの交流から学ぶ (地域連携親子交流授業)</li> <li>・社会で子育てを支える</li> <li>・愛されて育つ</li> <li>・他者とかかわる力を高める*コミュニケーションワーク</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a : 実践的、体験的な活動を通して、保育に関心をもち、学習に取り組もうとしている</p> <p>b : いのちの尊厳や子どもをうみ育てることの意義、親の役割について考え、まとめたり、発表したりしている</p> <p>c : 事例や乳幼児親子との交流を通して、子どもと触れ合い、実際の姿を観察したり、乳幼児の発達や親の役割についてインタビューしたりして、情報を収集・整理することができる</p> <p>d : 乳幼児期の愛着の形成や人間形成の基礎となる乳幼児期における親や家庭、社会の役割の重要性を理解している</p>	<p>授業観察</p> <p>振り返りシート</p> <p>ワークシート及び課題レポート</p> <p>発表</p> <p>グループ活動</p> <p>相互評価</p> <p>定期考査</p>

2年現代文B\_R4 シラバス

3 学期	○ 食生活(環境・生活設計色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活について考える</li> <li>・バランスのよい食事と栄養</li> <li>・食の選択力を高める</li> <li>・心を育む食卓づくり</li> <li>・調理の基礎、配膳、マナー</li> <li>・これからの食、これからの生き方</li> </ul> <p>&lt;実生活にて実践&gt; 食育実践2Weeks 実施 (朝食及び野菜350gプロジェクト)</p> <p>☆調理実習は年間通して行う</p>	○	○	○	○	文科省食に関する指導の手引きより〈食育の視点〉 食事の重要性／心身の健康 食品選択能力／感謝の心 社会性／食文化  a:食が心身を育むうえで大切なものであることを理解し、意欲的に学習に取り組み、実生活で活かそうとする実践的な態度を身に付けている。 b:現在の食生活の傾向を知り、健康で安全な食生活を営むための基本を理解し、それを実践できる能力を身に付けている。 c:食に関する各分野の習得すべき基礎的・基本的な技能を身に付けている。 d:食事がもたらす役割を理解し、食に関する各分野において習得すべき知識や重要な概念を身に付けている。	授業観察 振り返りシート  ワークシート及びレポート  実践課題  発表 ペア活動  定期考査
---------	--------------------	--	---	---	---	---	---	---

※学習指導要領記載 10 分の 5 以上を実験・実習に配当し、実践的・体験的な学習を通して学びを深めていく。

※ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動においては、長期休暇や 2 学期 及び 3 学期に行う。

※表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
 c:技能      d:知識・理解

※年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。



学校番号	3001
1 枚のうちの 1	

## 「学校設定教科」届

教科名	教養
教科設定の理由等	生徒の基礎学力の向上、定着をねらいとして、「基礎教養」の科目を設定する。
教科の到達目標	読み・書き・計算などの基礎学力の向上、定着。
到達目標に向けての具体的な取組	「基礎教養」では、読み・書き・計算等の基礎学力に関する演習を行い、普段の国語や数学の授業の中でのつまずきを学び直す。小テストや定期考査において、学習を繰り返すことで、知識・技能の定着をはかる。
<p>教科開設に伴い設定する科目名をすべて記入すること</p> <p>2年生：科目（学）「基礎教養」</p>	

別紙様式3-①の(2)に記した「学校設定教科」について、教科ごとに作成すること。

学校番号

3001

枚のうちの

## 「学校設定教科に関する科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
教養	基礎教養	2	2	自主教材を使用

到達目標	読み・書き・計算などの基礎学力の向上、定着。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	「基礎教養」では、読み・書き・計算等の基礎学力に関する演習を行い、普段の国語や数学の授業の中でのつまずきを学び直す。小テストや定期考査において、学習を繰り返すことで、知識・技能の定着をはかる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4	国語常識に関する自主教材(プリント)	漢字の読み書き 四字熟語、慣用句 口語文法 等	国語 ・取り組みの観察 ・発問に対する回答 ・学習プリントの進捗状況	国語 ・取り組みの状況 ・試験問題での習得の程度
5	割合・百分率の考え方に関する自主教材(プリント)	分数や小数の計算方法、考え方を十分に理解できるような演習を行う。また、割合・百分率の考え方について演習を行う。	数学 ・定期考査 ・出席状況	数学 ・目標を理解し、習得できているかどうか。 ・学習プリントでの取り組みの姿勢
6				
7				
8	1学期のまとめ			
9	国語常識に関する自主教材(プリント)	漢字の読み書き ことわざ、慣用句 敬語 等	国語 ・取り組みの観察 ・学習プリントの進捗状況	数学 ・目標を理解し、習得できているかどうか。 ・学習プリントでの取り組みの姿勢
10	数学 速さ、濃度計算に関する自主教材(プリント)	1学期に既習の割合の計算から水溶液の濃度を計算する。また、速度についての学習も行う。	数学 ・出席状況 ・定期考査	
11				
12				
1	2学期のまとめ			
1	国語常識に関する自主教材(プリント)	国語常識の総まとめ		

## 2年現代文 B\_R4 シラバス

2	初等幾何についての 自主教材（プリント）	図形の面積や体積につい て学ぶ。		
3				

